演習の所要時間: 5 分程度

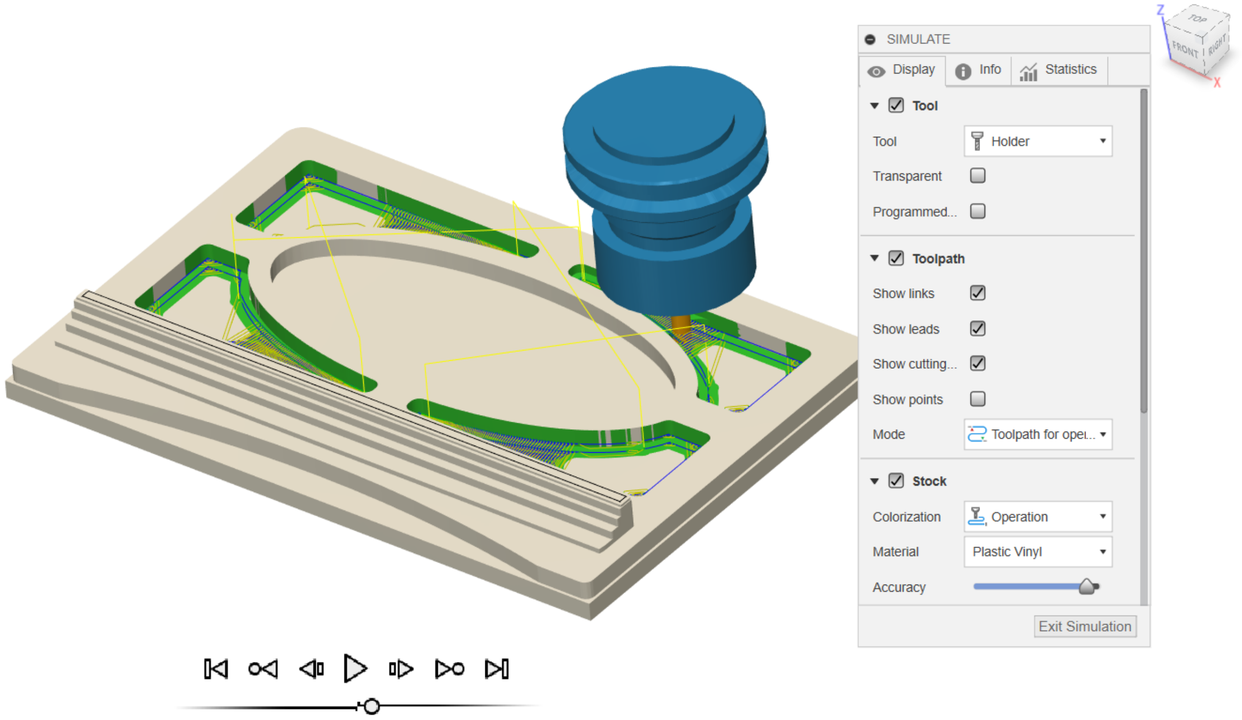
解決策: 練習課題

粗取りツールパスを作成する

この練習では、粗取りツールパスを作成して、タブレット スタンドパーツからストック材料の大部分を除去することができます。

学習の目的:

- フェイシング ツールパスを使用します。
- 負荷制御ツールパスを使用します。
- パラメータを調整して、複数の粗取りツールパスを効率的に使用できるようにします。



完成図

1. 指定されたデータセット **Tablet stand body practice 3.f3d** を開きます。[製造]作業スペースのツールバーで、[ミル] > [2D] > [面]をクリックします。

   [面]ダイアログの[工具]タブで、[選択]をクリックして、工具を 50 mm フェースミル (工具 #1)に設定します。加工対象の材料に対して、必要に応じて送りと速度のパラメータを更新します。

   面ツールパスは、ジオメトリのモデルの上面に自動的に既定で設定されるため、輪郭選択は必要ありません。

   面全体を確実に加工するには、[パス]タブの[ストック オフセット]オプションを 13 mm に増やします。

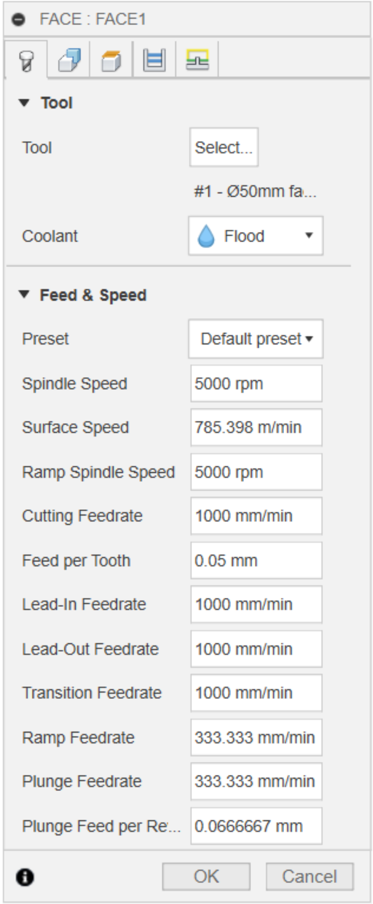


図 1. フェイシング操作

2. [ミル]タブのツールバーで、[3D] > [負荷制御]をクリックします。負荷制御では、ポケットの材料の大部分が粗雑に除去され、工具は 18 mm フラット エンドミルとして設定されます(工具 #2)。[OK]をクリックします。

   注: 一般的な粗取りパスでは、図形データを選択する必要はありません。ツールパスは、指定ストックしきい値でポケットを自動的に除去します。

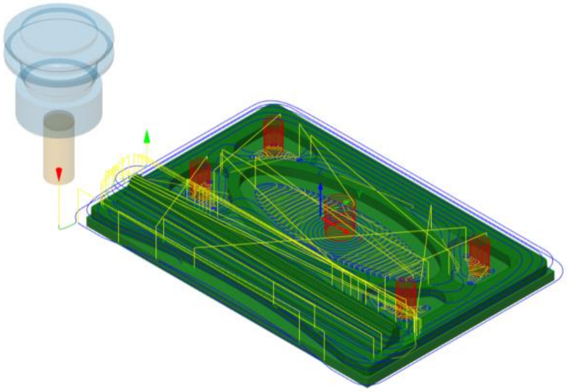


図 2. 全体的な負荷制御の操作

---

3. ポケットのコーナーに近づけるには、6 mm フラットエンド ミル(工具 #3)を選択して、[3D] > [負荷制御]ツールパスを繰り返します。

   [ジオメトリ]タブで、[選択]を選択して[加工境界]をアクティブにし、楕円を囲む 4 つの対称ポケットの下部エッジの輪郭を選択します。[OK]をクリックして操作を確定します。

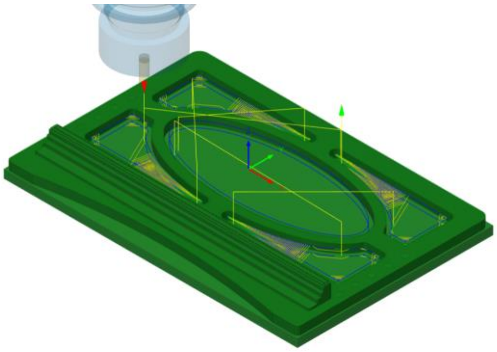


図 3. 負荷制御ポケット操作

4. セットアップ内のすべての操作を確認します。ブラウザで[セットアップ]をクリックし、[ミル]タブのツールバーで、[アクション] > [マシンを使用してシミュレート]をクリックします。

干渉が検出されなかったこと、およびツールパスがプログラムどおりにパーツを粗取りしていることを確認します。

注: 通常は、個々の操作をプログラミングした後にシミュレーションを行って、次の操作に移る前に問題がないことを確認すると便利です。

図 4. 粗取り工程のシミュレーション